

音声ベビーモニター

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



* 4 4 6 0 1 7 9 0 1 * (1)

©2013 Sony Corporation Printed in China

NTM-DA1

△警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害などへの危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

送信機や受信機、ACアダプターの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一本体に異常が起きたら

① 電源を切る
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

本紙面の右側にソニーの相談窓口の連絡先があります。

警告 下記の注意事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

窒息危険

お子様の手の届かないところ(1m以上推奨)に、電源コードを設置してください。

電源コードに絡み、窒息するおそれがあります。コードの巻きつけによる窒息を防ぐために、以下の点にご注意ください。

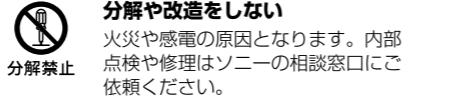
- 送信機や電源コードをお子様の手の届くところに置かないでください。
- 送信機や電源コードをベビーベッドやベビーサークルに取り付けないでください。

• 送信機の電源コードは市販のコードクリップなどを使用して、壁に固定してください。

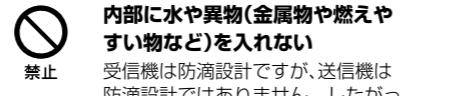
• ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。



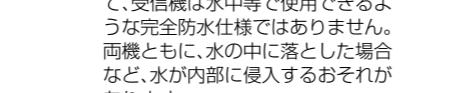
下記の注意を守らないと、**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。



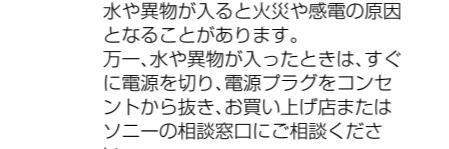
分解や改造をしない
火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。



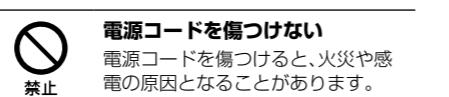
内部に水や異物(金属物や燃えやすい物など)を入れない
受信機は防滴設計ですが、送信機は防滴設計ではありません。したがって、受信機は水中等で使用できるよう完全防水仕様ではありません。両機ともに、水の中に落とした場合など、水が内部に侵入するおそれがあります。水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。



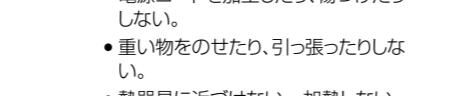
本体の上に乗らない、重いものを載せない、ぶら下がらない
落ちたり壊れたりして、けがの原因となることがあります。



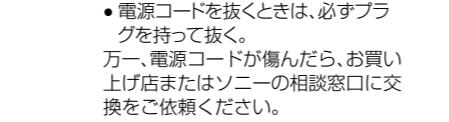
お手入れの際は、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



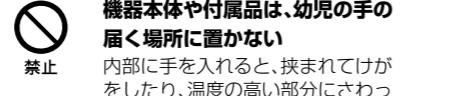
電源コードをACアダプターに巻き付けない
断線や故障の原因となることがあります。



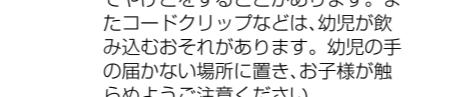
雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない
本機や電源プラグなどに触ると感電の原因となります。



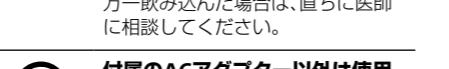
機器本体や付属品は、幼児の手の届く場所に置かない
内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。またコードクリップなどは、幼児が飲み込むおそれがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



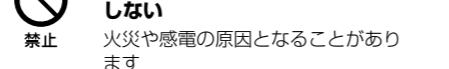
付属のACアダプター以外は使用しない
火災や感電の原因となることがあります。



心臓ベースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する
電波によりベースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



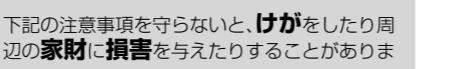
病院などの医療機器内、医療用電子機器の近くでは本機を使用しない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



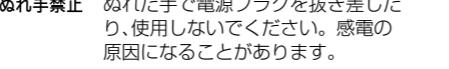
本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本機の使用を中止する



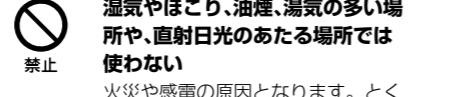
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



航空機内では本機を使用しない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



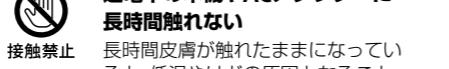
本製品の使用に関するご注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

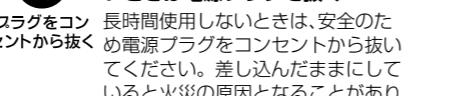
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止し(電波の発射を停止)してください。

3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。



通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

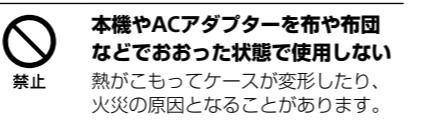
長時間皮膚が触れたままになつていると、低温やけどの原因となることがあります。



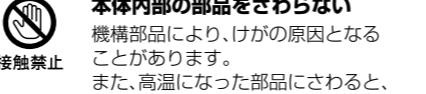
移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。



本機やACアダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



本体内部の部品をさわらない
機構部品により、けがの原因となることがあります。

また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。

ケースが破損しても本体内部の部品には触れなさいください。

高電圧部品により感電することがあります。

● 送信機は、お子様の手の届かないところ(1m以上推奨)に設置してください。

● 万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

● 長時間使わないときは、送信機と受信機の両方の電源プラグをコンセントから抜いてください。

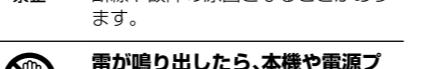
● 電源プラグは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は、速やかにコンセントから抜いてください。

● 本機の電源を切っても、電源コンセントにつながっている間は通電されています。

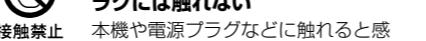
● 長時間使わないときは、送信機と受信機の両方の電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は、電源プラグを抜く

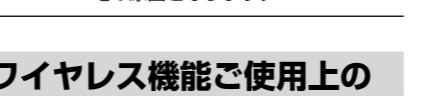
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



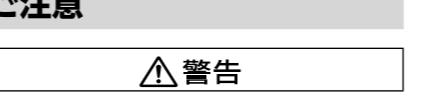
電源コードをACアダプターに巻き付けない
断線や故障の原因となることがあります。



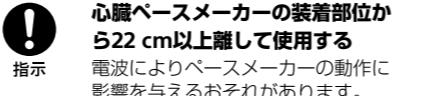
雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない
本機や電源プラグなどに触ると感電の原因となります。



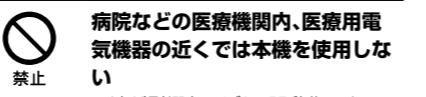
機器本体や付属品は、幼児の手の届く場所に置かない
内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。またコードクリップなどは、幼児が飲み込むおそれがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



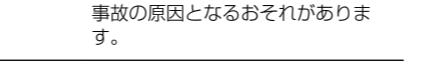
付属のACアダプター以外は使用しない
火災や感電の原因となることがあります。



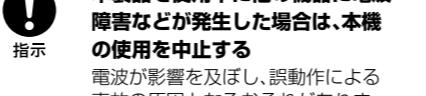
心臓ベースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する
電波によりベースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



病院などの医療機器内、医療用電子機器の近くでは本機を使用しない

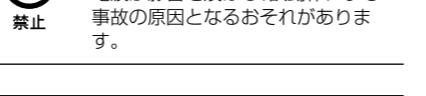


電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



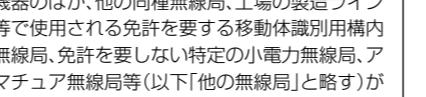
本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、本機の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



航空機内では本機を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



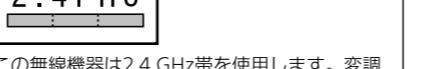
本製品の使用に関するご注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止し(電波の発射を停止)してください。

3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。



通電中の本機やACアダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになつていると、低温やけどの原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。

● 送信機や電源コードをお子様の手の届くところに置かないでください。

● 送信機や電源コードをベビーベッドやベビーサークルに取り付けないでください。

● 送信機の電源コードは市販のコードクリップなどを使用して、壁に固定してください。

● ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。

お使いになる前に必ずお読みください

主な仕様

周波数：デジタル2.4 GHz

通信距離：約270 m (見通し直線距離)

送信機

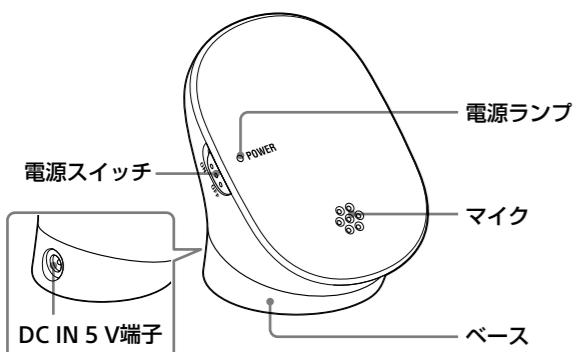
電源電圧：
ACアダプター (DC IN 5 V端子) AC 100 V ~ 240 V, 50 Hz/60 Hz

外形寸法：
通常時 約53 mm x 62.3 mm x 56.1 mm (幅/高さ/奥行き)

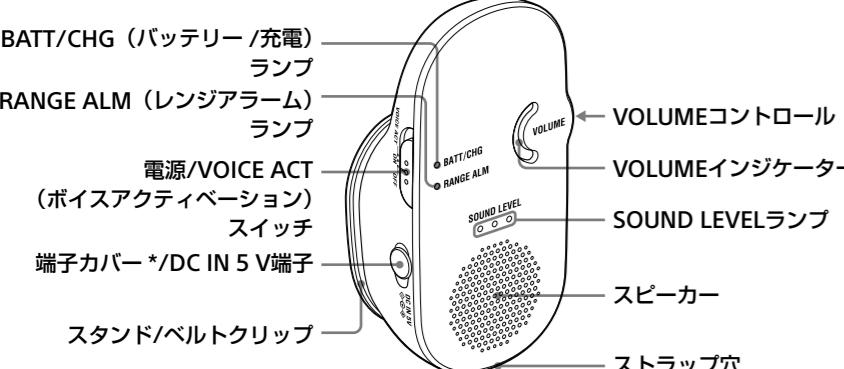
突起部を含む 約53 mm x 45.1 mm x 70.3 mm (幅/高さ/奥行き)

設置する

送信機



受信機



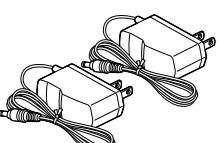
* 水回りでご使用の場合は、DC IN 5V端子のカバーを確実に閉めて、お使いください。
カバーが開いた状態では、水が内部に入り故障のおそれがあります。

ランプ表示一覧(受信機のみ)

BATT/CHG (バッテリー / 充電) ランプ	消灯：電源オフ 緑色：電源オン オレンジ色：充電中 赤色に点滅：バッテリー残量が少ない
RANGE ALM (レンジアラーム) ランプ	赤色：受信機が受信範囲から外れたとき
SOUND LEVELランプ	赤色：受信機からの入力音声ボリュームレベルを表示 (消灯時[低] → 3つ点灯時[高])

同梱物一覧

送信機(1)
受信機(1)
ACアダプター(2)

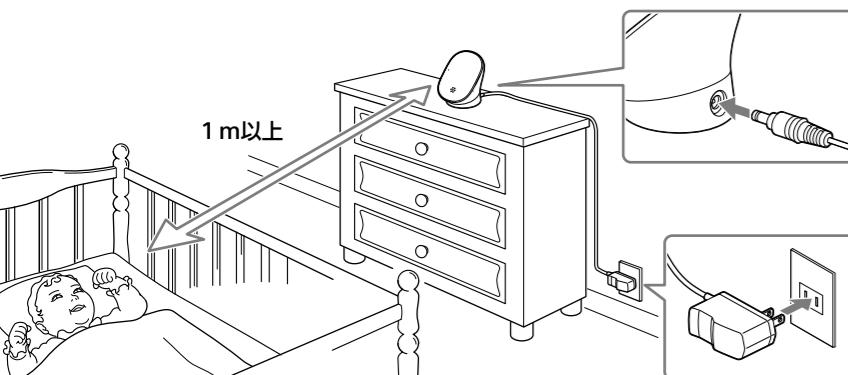


取扱説明書・保証書(本書)

ヒント

•2つのACアダプターは、同じものです。送信機と受信機のどちらにでも使えます。

送信機



お子様の手の届かないところ(1m以上推奨)に設置してください。

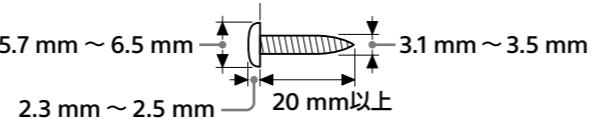
1 付属のACアダプターを送信機のDC IN 5V端子と壁のコンセントにつなぐ。

ご注意
•送信機の回転角度には制限があります。「カチッ」と止まったところ以上は回転させないでください。
•送信機と電源コードをお子様の手の届く範囲に置かないでください。
•ベビーベッドやベビーサークルに、送信機を取り付けたり、電源コードを中に這わせたりしないでください。
•ACアダプターに延長コードを使わないでください。付属されているACアダプターのみをお使いください。
•送信機を何かで覆ったり、お子様との間に物を置いたりすると、音声が拾えなくなりますのでご注意ください。

送信機を壁に取り付ける

準備

ネジは付属していません。送信機底面の壁かけ用ネジ穴に合う市販のネジ(ネジ径3.1mm～3.5mm、ネジ長さ20mm以上の丸木ネジ)をご用意ください。

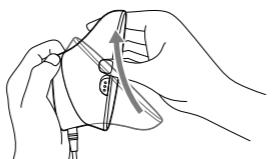


1 壁に市販のネジをとめる。

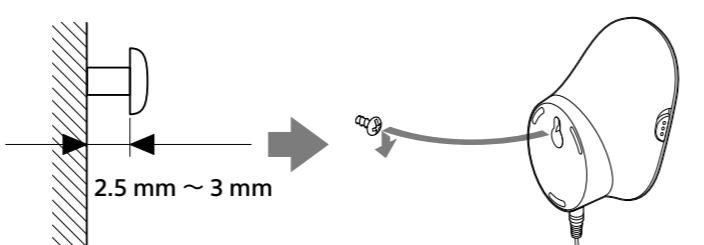
ネジが壁から2.5mmから3mm突き出した状態で壁に固定します。

2 送信機を保持し、図の方向に「カチッ」と止まるまで回転させる。

送信機の回転位置は、壁掛けに適した位置または平置きに適した位置の2種類となります。



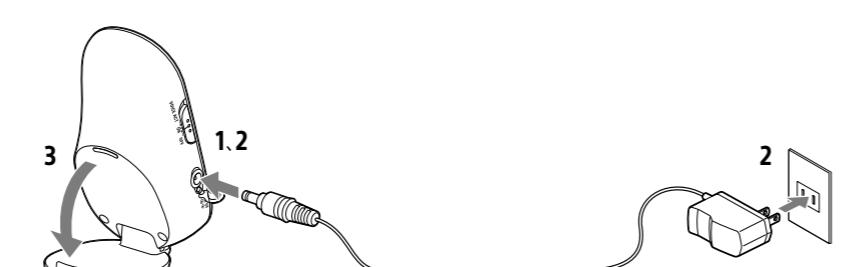
3 ネジに送信機を取り付ける。



ご注意

- 送信機の回転角度には制限があります。「カチッ」と止まったところ以上は回転させないでください。
- 壁掛けの場合は、壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジはしっかりと固定してください。
- 電源コードを送信機に接続してから壁にかけ、その後に電源プラグをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、壁などの強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 取り付けネジが緩んで送信機が落下しないようにしっかりとネジを締めてください。

受信機(ACアダプター使用時)



1 DC IN 5V端子カバーを開く。

2 付属のACアダプターを受信機のDC IN 5V端子と壁のコンセントにつなぐ。

3 スタンドを開き、受信機の角度を調節する。

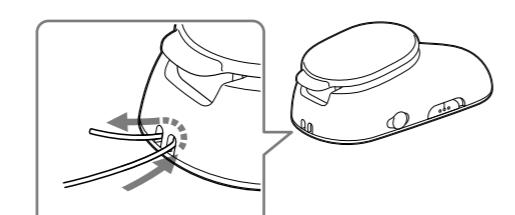
ご注意

- 安定した場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 安定した状態になるように角度を調整してください。倒しすぎると転倒するおそれがあります。

受信機を持ち運ぶ

首に掛けたり、ベルトに装着したりして受信機を持ち運ぶときは、内蔵バッテリーで動作します。BATT/CHG (バッテリー / 充電)ランプの状態によってバッテリー残量が確認できます。

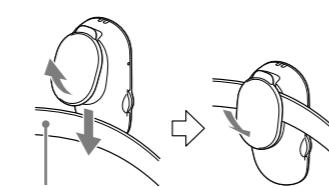
受信機にストラップを付ける



ご注意

- ストラップは付属していません。充分な強度のストラップをご使用ください。

受信機をベルトに付ける



ご注意

- ベルトクリップをご使用の際は、落下しないよう取り扱いにご注意ください。

内蔵バッテリーについて(受信機のみ)

受信機がACアダプターに接続した状態で、内蔵バッテリーが一定のレベルまで放電した場合、内蔵バッテリーは自動的に充電を開始し、満充電まで充電されます。

バッテリーの持続時間のめやす

満充電後、約16時間
(音量レベル中、Voice Activation (ボイスアクティベーション)機能オフの状態で動作したとき)

充電時間のめやす

バッテリーを使い切ってから満充電までは、約7時間かかります(温度25℃の環境下で充電した場合)。ただし、使用状況や環境によっては、さらに長くかかります。

バッテリー残量を確認する

バッテリー残量が少なくなったとき、警告音が鳴り、BATT/CHG (バッテリー / 充電)ランプが赤色に点滅します。

ご注意

- バッテリーの残量がない状態で保管すると、充電池の寿命に影響をおよぼすことがあります。バッテリーの残量がない場合、すみやかにACアダプターに接続して充電してください。
- 本機を長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、半年に1回程度は満充電してください。

設定する

電源を入れる



1 受信機の電源スイッチをONにする。

2 受信機の電源/VOICE ACT (ボイスアクティベーション)スイッチをONまたはVOICE ACTにする。

スピーカーから音声が流れきます。

ご注意

- 受信機の電源が入っていない状態で受信機の電源を入れると、信号受信エラーとして受信機から警告音が鳴ります。先に受信機の電源から入れることをおおすすめします。
- 受信機と送信機の距離が近いときに電源を入れると、ハウリング音が発生する可能性がありますので電源を入れないでください。

ヒント

- 受信機のマイクが検出した音量に応じて、受信機のSOUND LEVELランプ(最大で3個)が赤く点灯します。
- 通信範囲外になると、受信機から警告音が鳴ります。

電源を切る

1 受信機の電源/VOICE ACT (ボイスアクティベーション)スイッチをOFFにする。

2 受信機の電源スイッチをOFFにする。

その他の設定をする

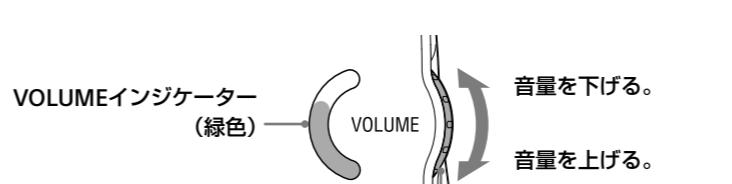
音量を調節する

音量は、赤ちゃんの声の大きさ、送信機と赤ちゃんとの距離、送信機内蔵マイクの向きや障害物などによって異なります。

必要に応じて、VOLUMEコントロールを回し音量を設定します。音量レベルを高く設定しすぎるとハウリング音が発生しますので、音量を下げてください。

音量を上げるには、VOLUMEコントロールを下側に回します。VOLUMEインジケーターの緑色のインジケーター部が増えます。

音量を下げるには、VOLUMEコントロールを上側に回します。VOLUMEインジケーターの緑色のインジケーター部が減ります。



ご注意

- 送信機から受信した入力音声レベルに応じて、SOUND LEVELランプが点灯します。VOLUMEコントロールによる音量レベルの設定は影響しません。

Voice Activation (ボイスアクティベーション)機能を使う

Voice Activation (ボイスアクティベーション)機能とは、一定の音量以上の音が検出されたときのみ、自動でスピーカーから音が出る機能です。

赤ちゃんが静かに眠っているときや親が寝ているときなど子供部屋からの音を常に確認する必要がないときに便利な機能です。

1 電源/VOICE ACT (ボイスアクティベーション)スイッチをVOICE/ACTにする。

故障かな?と思ったら

修理にお出しになる前に、再度の点検と、ホームページのサポート情報を確認してください。

それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。修理にお出しになるときは、どちらか一方に不具合があると思われる場合も、必ず送信機と受信機の両方をお持ちください。

音が出ない

- 電源プラグがコンセントから外れている。
- 受信機の内蔵バッテリーが消耗している。
- 受信機が送信機から遠すぎる。
- スピーカーの音量設定が小さい。(音量が絞られている。)
- 静かな環境で、電源/VOICE ACT (ボイスアクティベーション)スイッチをVOICE/ACTに設定している。

雑音がする

- 受信機が送信機から遠すぎる。
- 2.4GHzの他機器(電子レンジ、無線LAN機器、BLUETOOTH機器など)からの影響を受けている。
- 他機器の電源を切る、または他機器と本機を離してください。

受信しにくい

- 電波の到達距離は、見通しの良い場所での直線通信距離で270mですが、壁や家具などの障害物が受信機と送信機の間にいると電波の到達距離は短くなります。
- 受信機と送信機が近くなるように、設置場所を変更してください。

ハウリング音がする

- 受信機が送信機に近すぎる。
- 受信機のスピーカー音量設定が大きすぎる。

警告音が鳴る

- 送信機の電源が入っていない。
- 受信機が送信機から遠すぎる。
- 送信機と受信機の間に障害物がある。
- バッテリー残量が少なくなっている。

警告音について

下記の場合に、警告音が鳴ります。
警告に合わせて対処してください。

■ 受信機が通信範囲の外に出た場合 :

- 警告音が1秒間に4回鳴ります。
- RANGE ALM (レンジアラーム)ランプが赤色に点灯します。

■ 受信機の内蔵バッテリーが消耗している場合 :

- バッテリー残量が少なくなると、1秒間に3回の警告音が3度鳴ります。
そのまま使い続けると、警告音が数秒間鳴り続けて、自動的に電源が切れます。
- BATT/CHG (バッテリー / 充電)ランプが赤色に点滅します。

■ 受信機をACアダプターに接続してください。

警告音が鳴る原因が取り除かれると、警告音は自動的に止まります。

手動で警告音を止めるには

電源/VOICE ACT (ボイスアクティベーション)スイッチをOFFにして受信機の電源を切ってください。

ご注意

- 警告音量の調整はできません。
- 警告音が鳴らないようにする設定はありません。